

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

第38回通常総会

日 時：令和6年6月18日（火）16時30分～17時10分

— 議 事 次 第 —

第38回通常総会 付議事項

第1号議案. 令和5年度 事業報告及び収支決算（案）

第2号議案. 令和6年度 事業計画及び収支予算（案）

第3号議案. 役員の選任等（案）

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

令和 5 年度

事業報告及び収支決算（案）

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

I 概要

令和5年度は、当推進会議の中心的な事業である技術研究発表会について、昨年と同様にハイブリッド形式で開催を行いました。また、交流展示会については、本年も特設サイトによるオンライン形式で実施しました。そして広く全国から多数の参加をいただきました。

また、技術研究発表会後の意見交換会および大阪会場の「都市づくりについての技術研究発表と講演会」を開催いたしました。

スマートシティ・ワーキンググループについては自主的な活動を継続しました。

「都市基盤技術サイト運営事業」についても、継続して事業を進めました。

このほか、前年度と同様に、交流見学会を実施するとともに、講演会を(一財)都市みらい推進機構等と共催し、会員の皆様へ最新の知識や技術の習得並びに情報交換を行う機会の提供に努めました。

II 会員

1. 会員数状況

	令和5年4月1日時点	令和6年3月31日時点	備考
正会員	24	24	
特別会員	98	97	・黒川洸 氏
合計	122	121	

2. 入退会・休会

退会・抹消

特別会員（学識）／東京工業大学名誉教授 黒川洸 氏（歿）

入会・休会

無

III 評議員会・総会

1. 第37回 通常総会 令和5年6月23日（オンライン形式）

- ・第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算（案）
- ・第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算（案）
- ・第3号議案 役員の選任等（案）

2. 第53回 評議員会 令和5年6月23日（オンライン形式）

- ・第37回通常総会付議事項

IV 各部会等の事業

1. 企画運営部会

評議員会の事前審議として、令和5年6月5日に第37回企画運営部会をオンライン形式にて開催し、事業報告・決算および事業計画・予算等の検討を行うと共に、講演会、交流見学会、意見交換会についての開催を決定しました。

令和5年度に開催された行事は以下の通りです。

(1) 講演会

- ① 令和5年12月13日（オンライン形式）

「モビリティの未来とまち」

講師：一般財団法人計量計画研究所 理事兼企画戦略部長

筑波大学客員教授、神戸大学客員教授

牧村 和彦 氏

- ② 令和6年3月7日（オンライン形式）

「都市行政における最近の話題」

講師：国土交通省 都市局 都市計画課長 鈴木 章一郎 氏

(2) 交流見学会

- ① 令和5年5月30日

「八重洲二丁目北地区第一種市街地再開発事業 <東京ミッドタウン八重洲>」

- ② 令和5年12月12日

「千葉公園再整備事業 <YohaS アリーナ及び TIPSTAR DOME CHIBA>」

「千葉市役所新庁舎」

（3）意見交換会

- ① 令和5年12月1日 第35回技術研究発表会の閉会式の後に開催

2. 技術交流部会

「スマート技術を活用したウェルビーイングなまちづくり」をテーマに、「第35回技術研究発表会」をハイブリッド形式、「第30回交流展示会」を特設サイトによるオンライン形式にて開催しました。

（1）「第35回技術研究発表会」に関する会議等及び開催概要

1) 会議の開催

第83回技術研究発表委員会	令和5年3月3日
第84回技術研究発表委員会・小委員会	令和5年4月10日
第85回技術研究発表委員会・小委員会	令和5年7月12日
第86回技術研究発表委員会	令和5年7月24日
第87回技術研究発表委員会・小委員会	令和5年9月12日
第88回技術研究発表委員会 論文審査委員会	令和5年10月16日
技術研究発表委員会 会場確認（3×3LabFuture）	令和5年11月10日
技術研究発表会・予行演習1（技術研究発表委員会）	令和5年11月13日
技術研究発表会・予行演習2（技術研究発表委員会）	令和5年11月14日
技術研究発表会・予行演習3（小委員会）	令和5年11月28日
第89回技術研究発表委員会	令和6年1月17日

2) 論文募集

第34回技術研究発表会論文募集案内	令和5年5月15日
同論文応募（予約申込締め切り）	令和5年6月30日
同論文応募（梗概・論文提出）	令和5年9月1日

3) 論文審査

令和5年9月中旬～10月6日

4) 「第35回技術研究発表会」開催概要

日 時 令和5年12月1日 10時30分～20時00分

場 所 3×3Lab Future（ハイブリッド形式）

聴講参加 314名（前年度 379名）

① 論文発表

A.技術・環境	5編	
B.情報・交通	5編	（内2編は共通セッション）
C.都市の再興・まちづくり	5編	（内2編は共通セッション）
合 計	15編	

※ 梗概および論文はホームページに掲載

② プロジェクト・技術報告 2編

③ 共通セッションテーマ 「ウェルビーイングなまちづくりに向けたアプローチ」

・国土交通省取り組み説明 国土交通省 都市局 新屋千樹 氏
「ウェルビーイングなまちづくりにおけるデータの活用」

④ 表彰 次のとおり、優秀賞、奨励賞を発表しました。

	優秀賞	奨励賞
A.技術・環境	1編	1編
B.情報・交通	1編	2編
C.都市の再興・まちづくり	1編	2編
合 計	3編	5編

■第35回技術研究発表会 受賞者 *敬称略

A 技術・環境

- 優秀賞 「地震ゆれ体感システムによる顧客との合意形成手法の開発」
株式会社竹中工務店 米田春美、浜辺千佐子、北野信吾、大石潤、池田周英
濱口弘樹、吉澤睦博、山本雅史
- 奨励賞 「地震応答解析結果の深層学習による建物損傷推定の精度分析」
株式会社竹中工務店 青井淳、恒川裕史、吉澤睦博、上林厚志、上林厚志
電気通信大学大学院 ガンバト ニャムフー、橋山智訓
横浜市立大学 鈴木伸治、秋元康幸、西井正造、武部貴則

B 情報・交通

- 優秀賞 「新たなモビリティ導入時の住民の行動・意識の変容に関する分析
ー日高市こま武蔵台地区を対象とした長期実証実験よりー」
国土交通省国土技術政策総合研究所 益子慎太郎、新階寛恭、石井儀光
復建調査設計株式会社 吉野大介、李美沙、大橋慶佑
株式会社サーベイリサーチセンター 稲葉亮輔
- 奨励賞 「スマート・ターミナル・シティさいたまにおけるモビリティ実証
～シェアサイクルとバスの国道における連携ポートの可能性～」
株式会社日建設計総合研究所 算文彦、杉原礼子
OpenStreet 株式会社 久富宏大
埼玉県さいたま市 田場 亮
- 奨励賞 「大丸有が目指すインクルーシブなスマートシティの実現
～デジタルエリアマップを活用した多様なユーザーへのアプローチ～」
一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会/三菱地所株式会社
川合健太
株式会社NTT データ 吉田英敬

C 都市の再興・まちづくり

- 優秀賞 「誰もが豊かさを享受できる加古川スマートシティの現在地と展望」
株式会社日建設計総合研究所 伊藤慎兵
兵庫県加古川市 杉野賢司、陰山大輔、十時崇充
- 奨励賞 「ファンベースの視点による愛着・推奨を高める地域づくりの考察」
小田急電鉄株式会社 八下田淳一、渡邊修、石黒努
小田急不動産株式会社 白石光次
- 奨励賞 「徒歩圏を根拠とした立地適正化計画の誘導区域設定に関する一考察」
長岡技術科学大学 丸岡陽
国土交通省国土技術政策総合研究所 益子慎太郎

(2) 「第30回交流展示会」開催概要

日 時 令和5年12月1日

場 所 オンライン形式

(特設サイト http://www.uit.gr.jp/tech_research2023/index.html)

出展数 7/自治体・団体

3. 広報部会

ホームページを定期的に更新し、最新の情報を提供しました。

データベース化した発表論文に第35回分を追加掲載し、会員非会員を問わず閲覧できるようにしました。

技術研究発表会の募集・開催について、外部のサイトに掲載し参加募集および開催周知に取り組みました。

(1) 主なHP掲載内容

- ・組織概要更新
- ・第35回技術研究発表会 演題募集要項
- ・第35回技術研究発表会 各論文および梗概
- ・第35回技術研究発表会 開催案内および開催結果
- ・第30回交流展示会 開催案内
- ・第30回交流展示会 展示内容および開催結果
- ・講演会 開催案内および開催結果

(2) 外部HP等への告知掲載、広報活動

- ・土木学会（JSCE）/情報交流サイト
- ・日本都市計画学会/メルマガ、Facebook
- ・国土交通省都市局/メルマガ、官民連携まちづくりポータルサイト
- ・近畿建設業協会/メルマガ

- ・公益財団法人都市活力研究所／メルマガ
- ・国土交通省建設専門誌記者会／プレスリリース
- ・国土交通記者会／プレスリリース

4. スマートシティ・ワーキンググループ

令和元年度に発足したスマートシティ・ワーキンググループは、前年に引き続き、対象地に関する調査・検討を実施しました。

V 都市基盤技術サイト運営事業

都市基盤技術サイト（てく Tech まちさんぽ）において、関連団体との相互リンク、国土交通省及び参加各社のプレスリリース掲載等の情報発信を継続実施しました。

令和4年度は昨年同様、25社の参加を得て継続実施いたしました。なお一層効率的な管理運営に心がけながら、有意義な情報提供に努めてまいります。

令和5年度収支決算（案）

アバンソワ・テクノロジー推進会議

1. 一般会計

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

令和5年度収入	4,261,669	円	（事業活動収入計 参照）
令和5年度支出	5,051,623	円	（事業活動支出計 参照）
展示等積立金取崩金	△789,954	円	

令和5年度収支決算

（令和5年4月1日から令和6年3月31日）

1. 一般会計

（単位：円）

事 項	予算額 A	決算額 B	差異 A-B
事業活動収入			
会費収入	4,000,000	4,000,000	0
雑収入	1,000	82	918
前年度繰越金	271,587	261,587	10,000
展示等積立金取崩金	1,300,000	789,954	510,046
事業活動収入計	5,572,587	5,051,623	520,964
事業活動支出			
事業費	2,069,000	1,669,348	399,652
技術交流部会費	1,129,000	906,090	222,910
調査委員会費	100,000	0	100,000
見学会費	30,000	6,588	23,412
講演会・意見交換会費	30,000	215,500	△185,500
広報部会費	550,000	318,430	231,570
総会費	10,000	0	10,000
謝金	220,000	222,740	△2,740
管理費	3,503,000	3,382,275	120,725
人件費	1,900,000	2,074,000	△174,000
事務費	1,553,000	1,300,000	253,000
雑費	50,000	8,275	41,725
事業活動支出計	5,572,000	5,051,623	520,377
当期収支差・次年度繰越金	587	0	

貸借対照表

（令和6年3月31日現在）

1. 一般会計		(単位：円)	
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
(流動資産)	7,382,105	(流動負債)	-
現金	112,520	未払金	2,074,000
普通預金	7,269,585	預り金	-
未収入金	-		
		(正味財産)	5,308,105
		展示等費用積立金	5,308,105
合計	7,382,105	合計	7,382,105

財 産 目 録

（令和6年3月31日現在）

1. 一 般 会 計		（単位：円）
項 目	内 訳	金 額
【資産の部】		
（流動資産）		7,382,105
1. 現金預金		
(1) 現 金		112,520
(2) 普通預金		7,269,585
	みずほ銀行 江戸川橋支店	2,811,890
	三菱UFJ銀行 兜町支店	4,457,695
2. 未収入金		
(1) 未収入金		-
【負債の部】		
（流動負債）		2,074,000
1. 未払金		2,074,000
2. 預り金		-
【正味財産】		5,308,105

令和5年度収支決算（案）

ア-パ ソイワ・テノゾ -推進会議

2. 情報発信事業会計

自 令和 5年4月 1日

至 令和 6年3月31日

令和5年度収入	1,492,761	円	(事業活動収入計 参照)
令和5年度支出	1,486,880	円	(事業活動支出計 参照)
次期繰越金	5,881	円	

令和5年度収支決算（案）

（令和5年4月1日から令和6年3月31日）

2. 情報発信事業会計

（単位：円）

事 項	予算額 A	決算額 B	差異 A-B
事業活動収入			
会費収入	1,500,000	1,440,000	60,000
雑収入	0	1	△1
前年度繰越金	52,760	52,760	0
事業活動収入計	1,552,760	1,492,761	59,999
事業活動支出			
事業費	260,000	266,880	△6,880
人件費	700,000	670,000	30,000
事務費	592,000	550,000	42,000
事業活動支出計	1,552,000	1,486,880	65,120
当期収支差・次年度繰越金	760	5,881	

貸借対照表

（令和6年3月31日現在）

2. 情報発信事業会計

（単位：円）

借 方		貸 方	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
(流動資産)	1,105,881	(流動負債)	-
現 金	50,000	未払金	1,220,000
普通預金	995,881	預り金	-
未収入金	180,000		
		(正味財産)	5,881
合 計	1,225,881	合 計	1,225,881

財 産 目 録

（令和5年3月31日現在）

2. 情報発信事業会計		（単位：円）
項 目	内 訳	金 額
【資産の部】		
（流動資産）		1,045,881
1. 現金預金		
(1) 現 金		50,000
(2) 普通預金		995,881
	みずほ銀行 江戸川橋支店	995,881
2. 未収入金		
(1) 会費未収入金		180,000
【負債の部】		
（流動負債）		1,220,000
1. 未払金		1,220,000
2. 預り金		-
【正味財産】		5,881

令和6年6月10日

監査報告書

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

会長 高橋 洋二 殿

監 事 久保田 勤 ⑩

監 事 河野 俊郎 ⑩

監事は、令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の当推進会議の財産の状況及び業務の執行状況の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

令和5年度の事業報告及び収支決算の説明を受け、会計帳簿並びに関係書類等の検査により、業務及び財産の状況を監査した。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告の内容は、当会の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 会計帳簿等関係書類を検査したところ、適正に処理されており、当推進会議の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。

以上

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

令和 6 年度

事業計画及び収支予算（案）

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

I 概要等

当推進会議は、より高度な都市基盤施設に関する啓発及びそれを支える新しい技術の開発促進、その成果の都市づくりへの普及・活用を推進するために、技術研究発表会、交流展示会、各種講演会、見学会、スマートシティ・ワーキンググループ等を積極的に実施してまいります。

都市基盤技術サイトの運営事業を実施いたします。

そして会員の皆様のご意見・ご要望を踏まえ、かつ、会員の皆様のご支援・ご協力、国土交通省都市局のご指導を仰ぎながら、以下の事業を行います。

なお、積立金の取り崩しにあたっては、これが将来の活動に大きな制約となる可能性があることに鑑み、今後、効率化等を前提に活動の充実を図りつつ、その取り崩しを最小限にするための検討を行っていくと同時に、収入増加への可能性についても検討することとします。

II 各部会の事業

評議員会の下に設置されている各部会は次の事業を企画し、実施します。

1. 企画運営部会

企画運営部会は評議員会の事前審議として当推進会議の事業報告・決算および事業計画・予算等の検討を行うと共に、以下の事業を企画します。

(1) 講演会

技術研究発表会開催時などに講演会を実施するとともに、都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会と合同で講演会等を開催します。

(2) 交流見学会

地方公共団体、プロジェクト関係者との意見交換、交流を重視した見学会を2回程度実施します。

(3) 意見交換会

技術研究発表会等の機会に、国土交通省等関係機関の方々を交えて意見交換会を開催します。

2. 技術交流部会

令和6年11月29日に3×3Lab Future（東京都千代田区）にて「第36回技術研究発表会」を開催します。閉会式及び表彰式終了後に、意見交換会を開催します。

同日、「第31回交流展示会」を特設サイトに掲載公開します。

テーマ「GXで実現する持続可能で魅力的なまちづくり」

技術研究発表会及び交流展示会の実施にあたり、企業や地方公共団体等からの参加者が増加するようPRに努めます。発表論文はホームページに掲載し、会員及び発表者、参加者等が閲覧できるようにします。

3. 広報部会

ホームページの更新をきめ細かく行い、産・学・官がそれぞれ双方向で情報交換できるようホームページを活用し、情報の提供等を行います。

また、前年度に引き続き発表論文の保存、管理等を安全・確実に行い、閲覧において検索機能を備えた発表論文のデータベース化をさらに進めます。

また、ホームページのリニューアルや都市基盤技術サイト（てく Tech まちさんぽ）との連携を検討します。

4. スマートシティ・ワーキンググループ

東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤英二先生（UIT 副会長）にご指導を仰ぎながら、国土交通省の関係職員も交えてスマートシティに関して研究を進めます。

III 都市基盤技術サイト運営事業

日本の民間企業の有する都市基盤技術等に関する情報を総合カタログ的に取りまとめ、インターネットを通じて広く国内外に発信する都市基盤技術サイト（てく Tech まちさんぽ）を運営します。その際、なお一層効率的な管理運営に心がけてまいります。

また、サイトの掲載情報の更新等、関連情報を発信するとともに、国土交通省と連携し本サイトの周知や都市基盤技術のPRに努めます。

令和6年度収支予算（案）

（令和6年4月1日から令和7年3月31日）

1. 一般会計

（単位：円）

事 項	予算額	令和5年度予算	備 考
事業活動収入			
会費収入	4,000,000	4,000,000	20万×20社
雑収入	1,000	1,000	預金利息等
前年度繰越金	0	271,587	
展示等積立金取崩	1,500,000	1,300,000	
事業活動収入計	5,501,000	5,572,587	
事業活動支出			
事業費	1,950,000	2,069,000	
技術交流部会費	800,000	1,129,000	技術研究発表会
調査委員会費	50,000	100,000	スマートシティWG
見学会費	30,000	30,000	
講演会・意見交換会費	220,000	30,000	
広報部会費	500,000	550,000	HP更新等
総会費	130,000	10,000	
謝金	220,000	220,000	
管理費	3,550,000	3,503,000	
人件費	2,100,000	1,900,000	
事務費	1,400,000	1,553,000	
雑費	50,000	50,000	通信費等
事業活動支出計	5,500,000	5,572,000	
当期収支差・次年度繰越金	1,000	587	

令和6年度収支予算（案）

（令和6年4月1日から令和7年3月31日）

2. 情報発信事業会計

（単位：円）

事 項	予算額	令和5年度予算	備 考
事業活動収入			
会費収入	1,440,000	1,500,000	6万円×24社
雑収入	0	0	
前年度繰越金	5,881	52,760	
事業活動収入計	1,445,881	1,552,760	
事業活動支出			
事業費	250,000	260,000	
人件費	660,000	700,000	
事務費	545,000	592,000	
事業活動支出計	1,445,000	1,552,000	
当期収支差・次年度繰越金	881	760	

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

役員を選任等（案）

<任期 2 年>

自 令和 6 年 6 月総会后

至 令和 8 年 6 月 30 日

ア・バウンティワ・テクノロジー推進会議

役員名簿（案）

<任期2年：（令和6）2024年総会後～（令和8）2026年6月>

敬称略・順不同【2023年通常総会後】2024.6.18現在

会長 【評議員】		
東京海洋大学	名誉教授	高橋 洋二

副会長 【評議員】		
東京大学大学院	工学系研究科 教授	羽藤 英二
日本大学	理工学部土木工学科 教授	中村 英夫

【評議員】 正会員		
鹿島建設株式会社	開発事業本部 本部次長	梅田 慎介
清水建設株式会社	営業総本部 街づくり推進室長	山寺 道隆*
大成建設株式会社	都市開発本部 プロジェクト開発第一部 部長	原田 憲雄
株式会社竹中工務店	開発計画本部長	中津 淳**
株式会社日建設計総合研究所	主席研究員	安藤 章
東日本旅客鉄道株式会社	執行役員 グループ経営戦略本部 品川・大 規模開発部門長	高橋 武
三井不動産株式会社	建設企画部長	雨宮 克也
三菱地所株式会社	執行役員 コマーシャル不動産戦略企画部長	井上 俊幸

【評議員】 特別会員		
東京都	都市整備局 都市基盤部長	長尾 肇太*
独立行政法人都市再生機構	技術監理部 部長	竹内 英雄*
早稲田大学	名誉教授	尾島 俊雄

【監事】		
小田急電鉄株式会社	小田急総合研究所 部長	久保田 勤*
株式会社オリエンタル コンサルタンツ	常務役員	河野 俊郎

*：（令和5）2023年度総会後交代

**：（令和6）2024年度総会以降

役員選任(案)

敬称略、順不同

◆令和5年7月以降

【監事】

小田急電鉄株式会社

(新任)	久保田 勤	小田急総合研究所 部長
(前任)	星野 清彦	まちづくり事業本部 新宿プロジェクト推進部長

◆令和6年4月以降

【評議員】

清水建設

(新任)	山寺 道隆	営業総本部 街づくり推進室長
(前任)	澤畑 克実	営業総本部 顧問

東京都

(新任)	長尾 肇太	都市整備局 都市基盤部長
(前任)	三宮 隆	都市整備局 都市基盤部長

独立行政法人都市再生機構

(新任)	竹内 英雄	技術監理部 部長
(前任)	新居田 滝人	理事

◆令和6年6月通常総会以降 (予定)

【評議員】

株式会社竹中工務店

(新任)	中津 淳	開発計画本部長
(現在)	佐藤 清吾	顧問